

学校図書館

読書と学びかたノート

小学校
低学年用



公益社団法人 全国学校図書館協議会

この冊子は、**宝くじ**の社会貢献広報事業
として助成を受け作成されたものです。

学び^{まな}かた^{かた}ノート^のの^つかい^方

学び^{まな}かた^{かた}ノートは、わからないことをしらべたり、わかったことをまとめたりするときにやくだちます。しらべたりまとめたりするときには、まず知^しりたいことをはっきりとことばで書^かいてみることです。つぎに、何^{なに}をつかってしらべるか、どのようにつかうか、しらべた内^{ない}ようをどのようにくらべたりするかなどを考^{かんが}えます。さい^ご後に、どのようにまとめるか、何^{なに}をつかってはっぴょうするかなどを見^みと^{とお}通してとり組^くみましょう。

学び^{まな}かた^{かた}ノートは、**ワーク**となっているところに書^かきこむことで、かだいをつかみ、しらべたりまとめたりはっぴょうしたりする力^{ちから}がみにつくよう^にくふうされています。図^と書^{しょ}館^{かん}のしりょうなどをつかって答^{こた}えを書^かきこんでください。テストではありませんので、図^と書^{しょ}館^{かん}の先生^{せんせい}やたん^{にん}の先生^{せんせい}にそうだしたり、友^{とも}だちと話^{はな}し合^あいながらとり組^くんでもかまいません。

このノートは、学^{まな}びかたの手^てじゅんや方^{ほう}ほうがまとめてあります。こまったときやわすれてしまったときなどにひらいてみてください。

がっ こう と しょ かん
学校図書館

どく しょ ま な
読書と学びかたノート



なまえ

1 テーマをきめる

1-1 しらべたいことをきめる 4

1-2 ^{がく}学^{けいかく}しゅうの^た計画を立てる 6

2 ^{ほん}本などでしらべる

2-1 ^{がっこう}学校^と ^{しょかん}図書館^いへ行く 8

2-2 ^{がっこう}学校^と ^{しょかん}図書館^{ほん}で本をかりる 10

2-3 ^よ読^{ほん}みたい本をさがす 12

2-4 もくじやさくいんをつかう 14

2-5 いろいろな^{ほん}本でしらべる 16

2-6 コンピュータやタブレットをつかう 18

3 しらべたことをまとめる

3-1 いろいろな方^{ほう}ほうでしらべる 20

3-2 ^{けんがく}見^{がく}学やインタビューをする 22

3-3 だいいじなことを^か書きぬく 24

3-4 ^き記^きろくカードに^き記^きろくする 26

3-5 しらべたことをまとめる 28

4 はっぴょうする

- 4-1 いろいろな方^{ほう}ほうではっぴょうする 30
- 4-2 絵^え本^{ほん}や紙^{かみ}しばいではっぴょうする 32
- 4-3 はっぴょう会^{かい}をひらく 34
- 4-4 学^{がく}しゅうをふりかえる 36

5 読^{どく}書^{しょ}をする

- 5-1 すきな本^{ほん}をしょうかいしよう 38
- 5-2 心^{こころ}にのこったこと^{こと}を書^かきぬこう 40
- 5-3 読^よんだ本^{ほん}を記^きろくしよう 42

にっ ぽん じっ しん ぶ ん る い ほう が っ こ う と し ょ か ん よ う こ う も く ひ ょ う
日本十進分類法 学校図書館用 綱目表

46

1-1

しらべたいことをきめる

ず 図をつかったり話し合ったりして、しらべたいことをきめましょう。

ワーク1 そだてたい野さいをきめましょう。

- ① 下の「くだもの」の（れい）にならって、まわりのマスに野さいを書き出してみよう。友だちの考えもさん考にしよう。その中からそだてたい野さいを1つえらんで○をつけよう。

（れい）

いちご	バナナ	みかん
かき	くだもの	りんご
ぶどう	キウイ	オレンジ

とも 友だちの考え

- ・パイナップル
- ・くり
- ・グレープフルーツ
- ・さくらんぼ

	野さい	

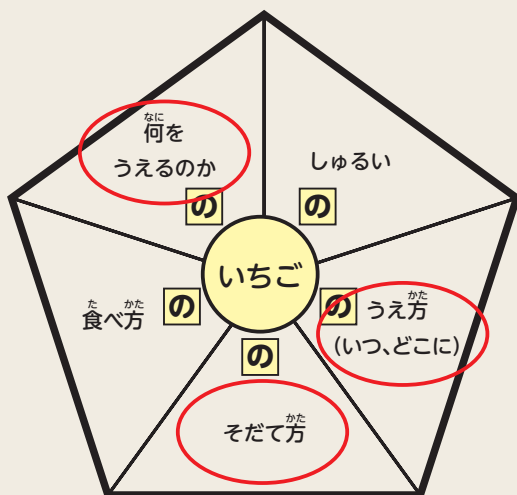
とも 友だちの考え

- ② どうしてその野さいをえらんだのか、わけを書きましょう。

ワーク2 ^や野さいをそだてるために何をしらべたらいいか、^{かんが}考えましょう。

① 「くだもの」の(れい)にならって、**ワーク1**でえらんだ野さいを○に書き入れ、その野さいの何をしらべたいか、**の**の後に書きましょう。友だちの考えもさん考にしましょう。

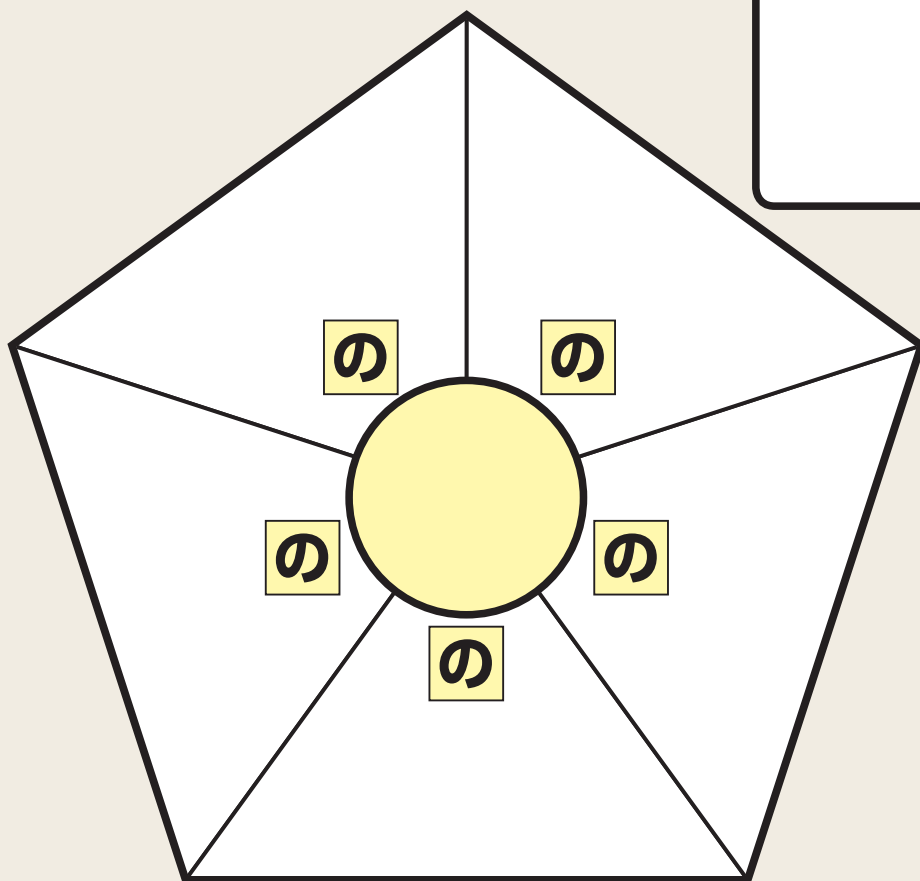
(れい)



^{とも}友だちの^{かんが}考え

- ・えいよう
- ・そだち方 (は・くき・ね・花)

^{とも}友だちの^{かんが}考え



② ^{うえ}上のしらべることの中から、^{なか}自分でしらべたいことを3つえらんで○をつけましょう。

1-2

がく けい かく た 学しゅうの計画を立てる

しらべるほう かんが 学しゅうの計画を立てましょう。

ワーク1 しらべるときにはどんな方ほうがありますか。
とも かんが 友だちの考えもさん考にしましょう。

〈しらべる方ほう〉

①	
②	
③	
④	
⑤	

とも かんが 友だちの考え



ワーク2 1-1 できめた野さいについて、つぎのページの
「学しゅう計画ひょう」に計画を立てましょう。

1 1-1 できめた3つのしらべることを、(れい) にならってもんだいの文「～か？」の形で書きましょう。

〈しらべること〉	〈しらべる方ほう〉
(れい) もんだいの文① いちごをそだてるときには、何を うえるのか？	・かんさつ ・インタビュー ・本 ・そのた ()

2 上の (れい) にならって、もんだいの文をしらべるときの方ほうをえらんで○をつけましょう。

がく けい かく
学しゅう計画ひょう

な ま え
名前 ()

や
〈しらべる野さい〉

や
〈その野さいをえらんだわけ〉

〈しらべること〉

ほ う
〈しらべる方ほう〉

ぶ ん
もんだいの文①

- ・かんさつ
- ・インタビュー
- ・本 ほん
- ・そのた

()

ぶ ん
もんだいの文②

- ・かんさつ
- ・インタビュー
- ・本 ほん
- ・そのた

()

ぶ ん
もんだいの文③

- ・かんさつ
- ・インタビュー
- ・本 ほん
- ・そのた

()

2-1

がっこうとしょうかんい 学校図書館へ行く

がっこうとしょうかん
学校図書館のことをしらべ、すすんでりようしましょう。

ワーク1 あなたのがっこうとしょうかんにあるものをしらべましょう。下の図に合う名前を からえらんで () に書きましょう。



()



()



()



()

ほん
本

カウンター

てんじだな

ファイルケース

ワーク2 あなたのがっこうとしょうかんにはどんなしりょうがありますか。○をつけましょう。

☐ ほん
本



☐ かみ
紙しばい



☐ パンフレット



☐ ち
地きゅうぎ



☐ しんぶん
新聞



☐ ざっし



ワーク3 としよかん 図書館でできること、してよいことに○をつけましょう。



ほん よ
本を読む



ほん
本をかりる



おお こえ はな
大きな声で話す



ほん
本をかえす



ほん
コンピュータで本
をさがす



ほん
本でしらべる



とも
友だちとあそぶ



ほん よ
本を読んでもらう



ほん
本のそうだんをする



よ
読みっぱなしにする



とも
友だちとはっぴょう
のそうだんをする



ほん
本をひとりじめにする



ワーク4 としよかん 図書館でどんなことをしたいですか。書いてみましょう。

.....

2-2

がっこうとしょうかんほん 学校図書館で本をかりる

ほん 本のかり方・かえし方を知り、じょうずにかりましょう。

ワーク1 ^{ほん}本をかりるときのやくそくです。□に^{すうじ}数字や^{ことば}ことばを書き入れましょう。



^{ほん}本はひとり □ さつ、かりられます。



^{ほん}本は □ に入れて
もち^{かえ}帰ります。



□ ^{にちかん}日間、かりられます。



^{ほん}本をかりるときは、□ と

いって、□ と □

をカウンターに^だ出します。



^{ほん}本をかえすときは、

□ と言って、

□ をカウンターに^だ出します。

ワーク2 ^{ほん なん い}本は何と言っているでしょう。



ワーク3 ^{ほん}本をかりるときやかりているときに、あなたはどんなことに
^き気をつけたいと ^{おも}思いますか。 ^か書いてみましょう。

.....

2-3

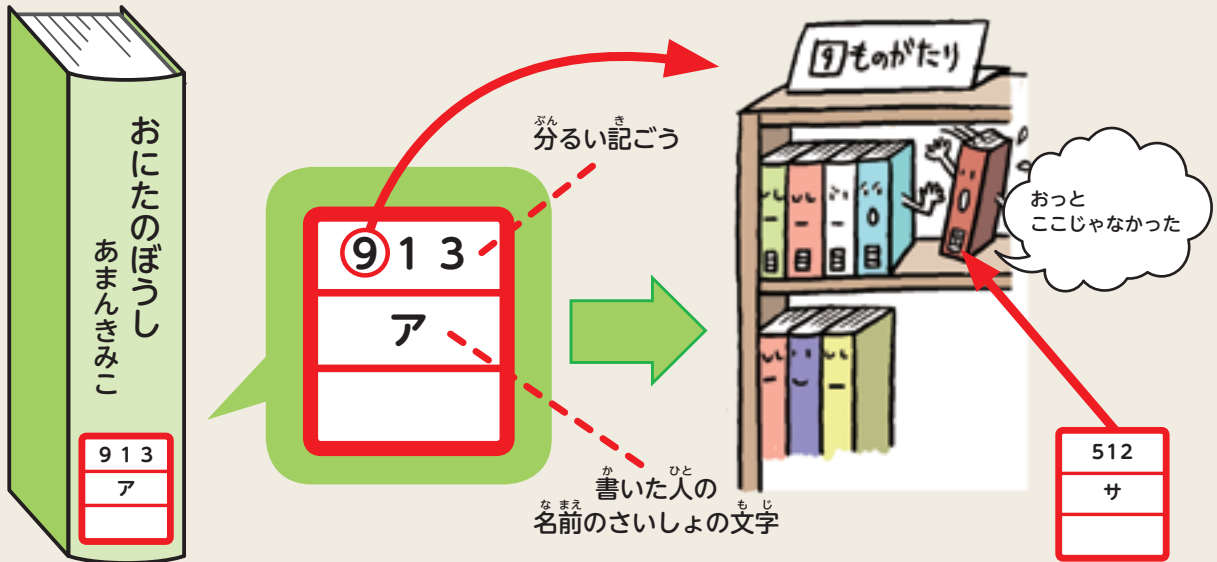
よ ほん 読みたい本をさがす

ほん 本のなかまわけやならび方を知り、じょうず(ほん)に本をさがしましょう。

ワーク1 ラベルや本のならび方を見てみましょう。

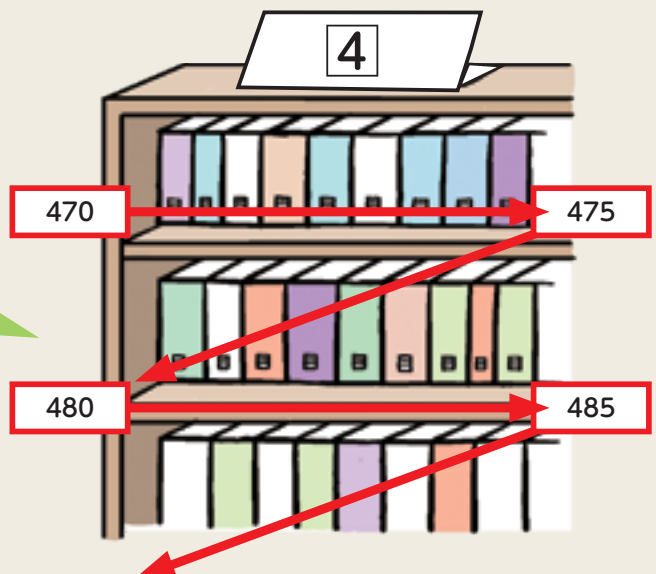
① ほん 本は、①から⑨のなかまごと(ほん)にならべられています。どのなかまにも(はい)入らない本を⑩(い)に入れています。それを「ぶんい(ぶん)記(き)ごう」と言います。

⑨(る)いはものがたりのなかまをあらわしています。



② い 生きものの(ほん)本は④(る)い(かた)に(み)あります。ならび方を見てみましょう。

ぶん(ぶん)い(き)記(き)ごう(ぶん)じゅん(ぶん)に、
おな(おな)じ(き)記(き)ごう(ぶん)の(ぶん)ときは
か(か)書いた(ひと)の(ご)じゅうおん(ご)じゅん(ぶん)に
ひだり(ひだり)から(みぎ)右(みぎ)に→
うえ(うえ)上(うへ)から(した)下(くだ)へ↓
ならびます。



ワーク2 つぎのラベルがついているのは、どんな本^{ほん}でしょうか。
線^{せん}でむすびましょう。

4 8 6
ト

4 るい ●

● 図書館^{としょかん}の中^{なか}だけで読む本^{よむほん}

9 1 3
オ

9 るい ●

● ものがたりの本^{ほん}



●

● 生きものの本^{ほん}

※ 「ぎんたいしゅつ」と読みます

ワーク3 つぎのなかまの本^{ほん}をさがして、(れい) にならって、だい名^{めい}・書^かいた人^{ひと}・ラベルを書^かきましょう。

(れい)

9

9 るい



スイミー

レオ = レオニ

9 3 3
レ

4

4 るい



--

--

--

9

9 るい



--

--

--

7

7 るい



--

--

--

2-4

もくじやさくいんをつかう

図かんのもくじやさくいんをつかってしらべましょう。

- ワーク1** 名前がわからないときは、「もくじ」をつかってしらべます。
もくじは本のはじめにあります。
図かんを1さつえらんで、もくじの場しょをしらべてみましょう。

図かんの名前	
もくじ	ページ ～ ページ

- ワーク2** つぎのような花や生きものを見つけました。図かんのもくじをつかって、名前をしらべましょう。

見つけた きせつ	夏	春から夏
見つけた 場しょ	花だん	はたけ・花だん
見つけた 生きもの		
名前		
つけた 図かん		

ワーク 3 ^{なまえ}名前がわかっているときには「さくいん」をつかってしらべます。
 さくいんは本^{ほん}のおわりにあり、五十音^{ごじゅうおん}じゅんにならんでいます。
 図^ずかんを1さつえらんで、さくいんの場^ばしょをしらべてみましょう。

図 ^ず かんの ^{なまえ} 名前		
さくいん	ページ ~	ページ

ワーク 4 さくいんをつかってつぎの花^{はな}や生きもの^{いきもの}をさがし、絵^えやわかったことを書^かきましょう。

生きもの ^{いきもの} の ^{なまえ} 名前	マリーゴールド	コクワガタ
生きもの ^{いきもの} の ^え 絵		
わかったこと		
つけた ^ず 図 ^ず かん		

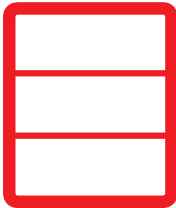
しらべる

2-5

いろいろな本でしらべる

いろいろな本を読んでしらべましょう。

ワーク 1 2-3 で学んだ本のなかから、草花の本を1さつさがし、
その草花のとくちょうについてしらべましょう。

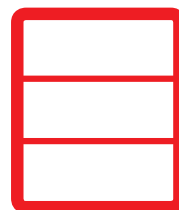
くさばな なまえ 草花の名前	
しらべた ほん なまえ 本の名前	
か ひと 書いた人	
くさばな え 草花の絵	
わかったこと	

ワーク 2

2-3

で^{まな}学んだ^{ほん}本のなかまから、はたらく^{くるま}車の^{ほん}本を1さつさがし、
その^{くるま}車のはたらきをしらべましょう。

^{くるま} 車 ^な 名前 ^{まえ}	
しらべた ^{ほん} 本の ^{めい} だい名	
^か 書いた ^{ひと} 人	
はたらく ^{くるま} 車の ^え 絵	
わかったこと	



2-6

コンピュータやタブレットをつかう

コンピュータやタブレットの^{ただ}正しい^{かた}つかい^し方を知り、じょうずにつかいましょう。

ワーク1 コンピュータやタブレットをつかって、やったことがあることには○を、やってみたいことには◎をつけましょう。

☐ もじ 文字をうつ



☐ どう^が画^みを見る



☐ え 絵をかく



☐ しらべる



☐ しゃしんをとる



☐ さく^{つく}作^{ひん}ひんを作る



ワーク2 コンピュータやタブレットのつかい^{かた}方^{ただ}で正しいものに○を、まちがっているものには×をつけましょう。

☐ せんせい いえ ひと 先生や家の人と
いっしょにつかう



☐ きれいな^て手でつかう



☐ マウスをぶら^さげ^るる



☐ つぎつぎに
めい^だれいを出^すす



☐ おとさないように
き^きをつける



☐ なが^じい^{かん}時間^{つづ}つづけて
つか^わな^いい



ワーク3 せんせい いえ ひと 先生や家の人といっしょにインターネットのキッズけんさくサイトで、いかってみたい生きものについてしらべましょう。

- キッズけんさくサイトでは、ソフトキーボードをつかってひらがなにゅうりょく入力ができます。
- よ読みがなをつけることもできます。
- 「ず図かん」コーナーからしらべることもできます。

はっ見カード けん

がつ 月 にち 日 () な まえ 名前 ()

しらべた生きもの い

え
絵

わかったこと

.....

.....

.....

キッズけんさくサイトの名前 な まえ

3-1

いろいろな方ほうでしらべる

いろいろな方ほうでしらべて、カードに記ろくしましょう。

ワーク1 あなたはふしぎに思ったことを、どのようにしてしらべますか。
これまでしたことのあるしらべ方に○を、これからしてみたいしらべ方に◎をつけましょう。

☐

かんさつする


☐

ほん
本でしらべる


☐

インターネットで
しらべる


☐

けんがく
見学する


☐

インタビューする


☐

ファックスできく


☐

でんわ
電話できく


☐

てがみ
手紙できく


☐

でんし
電子メールできく



ワーク2 かんさつしたりしらべたりして、わかったことをカードに^き記ろくしましょう。

はっ^{けん}見カード

がつ
月

にち
日

(

)

なまえ
名前

(

)

しらべたこと

え
ず
絵や図

わかったこと

ほん なまえ ひと
本の名前やきいた人など

3-2

けんがく 見学やインタビューをする

けんがく 見学やインタビューをするときには、しっかり計画を立て、しらべましょう。

ワーク1 まちたんけんの計画を立て、じゅんびをしましょう。

まちたんけんの計画					
がつ 月 にち 日 () なまえ 名前 ()					
たんけんに行く日	がつ 月	にち 日	ようび 曜日		
じ 時こく	しゅつ 出ばつする じ 時こく		じ 時 ぶん 分	➡	かえ 帰ってくる じ 時こく ぶん 分
やくわり					
い 行きたい場所・ あ 会いたい人					
み 見たりきいたり してること	① ② ③				
わたしたちの やくそく	① ② ③				
もちもの					

ワーク2 まちたんけんをして、^み見たりきいたりしたことを「はっ^{けん}見カード」に
^き記入くしましょう。

はっ^{けん}見カード

がつ
月

にち
日

()

なまえ
名前

()

けんがく^ぼ 見学した場しょ・^{はなし}話をきいた人^{ひと}

え^ず 絵や図

わかったこと

かんが^え 考えたこと

3-3

だいたいなことを書きぬく

しらべたいことがどこに書いてあるか見つけ、だいたいなことだけを書きぬきましょう。

ワーク1 しらべるときには、しらべたいことがどこに書いてあるか見つけます。つぎの①～③について書いてあるところを見つければ、文の下に せん 線をひきましょう。

① ショウリョウバッタの体の大きさ

② ショウリョウバッタの体の色

③ オスがとぶときのようす



ショウリョウバッタは、バッタ科の昆虫です。体の大きさは、オスがおおよそ 4.5 ～

5 センチメートル、メスがおおよそ 7.5 ～ 8 センチメートルで、メスの方が大きいです。

日本ぜん国の草原にすんでいます。体の色は、みどり色や茶色で、まわりの色とにた

ほご色になっています。体は、頭の先がとがっていて、ぜん体てきに細長い形をしています。

後ろ足が長いです。オスはとぶときに前と後ろの羽をうち合わせ、「キチキチ」と音を

出します。せい虫は 7 月ころからあらわれ、

ススキなどの葉を食べます。



(『バッタのひみつ』 虫田一郎・文 こんにちは出版社 より)

ワーク 2

前のページで せん 線を引いていただいたことを書きぬき、
絵もかきましょう。

ショウリョウバッタのひみつ

①

からだ おお
体の大きさ

②

からだ いろ
体の色

③

オスがとぶときの
ようす

④

え
絵

3-4

き 記ろくカードに記ろくする

き 記ろくカードやしゃしんなどをつかって、わかりやすくき 記ろくしましょう。

ワーク 1 しらべたときには、^{した}下の（れい）のように^き記ろくカードにメモしましょう。

（れい） **3-3** 「ショウリョウバッタのひみつ」から

- 1つのカードに
1つの^き記ろく
- かじょう書きで

- 本の^{ほん}だい名は『 』
- インタビューは
きいた^{ひと}人の^な名前
- かんさつ^ば場しよ

テーマ	ショウリョウバッタのひみつ		【記ろく日】	6月	15日
しらべたこと	① ^{からだ} ^{おお} 体の大きさ				
わかったこと	・オスがおよそ 4.5 ～ 5 センチメートル ・メスがおよそ 7.5 ～ 8 センチメートル ・メスの ^{ほう} ^{おお} 方が大きい				
しりょう	ほん 本・インタビュー かんさつ・そのた	『バッタのひみつ』 虫田一郎 文		486 ム	
なまえ 名前 ()					

1 3-3 「ショウリョウバッタのひみつ」の②「^{からだ}体の^{いろ}色」、③「オスがとぶときのようす」のどちらかを上の（れい）にならって^き記ろくカードにメモしましょう。

テーマ	き 記ろく日		
しらべたこと			
わかったこと			
しりょう	^{ほん} 本・インタビュー かんさつ・そのた		
なまえ 名前 ()			

② すきなこん虫^{ちゅう}や草花^{くさばな}をえらんでしらべ、(れい) にならって記^きろくカードにメモしましょう。

テーマ	[記 ^き ろく ^び 日]		が ^つ 月	び日
しらべたこと				
わかったこと				
しりょう	ほん 本・インタビュー かんさつ・そのた			
なまえ 名前 ()				

ワーク2 見^{けん}学^{がく}やかんさつ^きをしたら、デジ^でタルカメ^らラやタブ^{たぶ}レットでしゃし^{しん}にとつて記^きろく^{ろく}することができま^たす。正^{ただ}しいつ^かた^かい方^{かた}やでき^かること^{こと}に○をしま^ししょう。

☐ 先生^{せんせい}や家^{いえ}の人^{ひと}にそう
だんして、いっしょ
につかう



☐ かつてにしゃし^{しん}をと
らない。きよか^{きよ}を
もらってからとる



☐ うごきながらシャッ
ターをおす



☐ とり^とりたいもの^{もの}がま
ん中^{なか}に見^みえるよう
にする



☐ いんさつ^{いん}したりテレ
ビにうつ^{うつ}したりして
みんなに見^みせる



☐ おとさ^{おと}ないようにひ
もを首^{くび}にかけ、りよ
う手^てでしっか^しりもつ



3-5

しらべたことをまとめる

カードやワークシートをせいりして、しらべたことを文にまとめましょう。

ワーク1 文のつなげ方や「 」に気をつけ、それぞれつづきを書いてみましょう。

にわでかんさつしたよ



ダンゴムシをさわると、すぐに丸くなります。14本の足もしょう角もぜんぶしまわりました。

にわでダンゴムシをかんさつしました。

ということがわかりました。

校長先生にきいたよ



何でもだっぴして大きくなるんだよ。ぬいだ白いかわを食べるんだよ。

校長先生にききました。

「

」

と話してくれ、しゃしんを見せてくれました。

『ダンゴムシのひみつ』でしらべたよ



ダンゴムシは、母親の体の中でたまごがふかして、白い小さなダンゴムシのすがたになってから、たん生します。

『ダンゴムシのひみつ』の本でしらべました。

「

」

と書いてありました。

ワーク2 **ワーク1** でわかったことをせつ明の文にまとめましょう。

① 「はじめ」「おわり」には、つづきを書きましょう。「なか」には、**ワーク1**の文を「 」や文のつなげ方に気をつけて書きましょう。

② に、下の からつなぎことばをえらんで書きましょう。

つぎに

はじめに

さい後に

③ あいているところに、かんさつしたりしゃしんや本で見たりした絵をかきましょう。

はじめ	についてしらべました。しらべたわけは、小さくてかわいい ダンゴムシのことをくわしく知りたかったからです。
なか	
おわり	しらべてみて、 と考えました。

4-1

いろいろな方ほうではっぴょうする

つたえる^{ひと}人にわかりやすいはっぴょうになるようにくふうしましょう。

ワーク1 つたえる^{ひと}人に、わかりやすいはっぴょう^{ほう}の方ほうをえらびましょう。
これまであなたがはっぴょう^{ほう}した方ほうには○を、これからやって
みたい方ほうには◎をつけましょう。



カード



絵



しゃしん



しんぶん
新聞・ポスター



かみ
紙しばい



パンフレット



えほん
絵本



まきもの



すごろく



げき・ペープサート



うた
歌



じつぶつとうえいき



ワーク 2 **3-3** でしらべた「ショウリョウバッタのひみつ」について、ポスターを作ってみましょう。

タイトル

ひみつ 1



からだの大きさ

名前 (

ひみつ 2



ひみつ 3



かんが

考えたこと・ぎもん



しらべた本・きいた人・かんさつした場所

- ひみつ 1 のように見出しを書いてから、つたえたいことを書こう。
- 絵やしゃしんや色をつかって、わかりやすくしよう。
- しらべて考えたことや、あたらしいぎもんも書こう。
- しらべた本やきいた人、かんさつした場所も書こう。



4-2

絵本や紙しばいではっぴょうする

しらべたことを絵本や紙しばいにしてはっぴょうしましょう。

ワーク 1 自分でしらべてわかったことを、絵本やまきものにしてはっぴょうしましょう。

① しらべてわかった3つのひみつについて、絵やしゃしん・せつ明の文をカードに書きましょう。

- みんなが読みたくなるように、ひょう紙をくふうしよう。
- みじかい見出しの後に、つたえたいことを書く。
- しらべた本やきいた人、かんさつした場しも書く。
- 絵やしゃしんをつかってわかりやすくしよう。
- つたえたいことが多いときは、ページをふやそう。

ひょう紙

ひみつ 1

しらべたもの

ひみつ 2

しらべたもの

ひみつ 3

しらべたもの

② あつい紙をテープでつないで、①のカードをじゅんじょよくはって絵本やまきものにしましょう。

③ しらべて考えたことや新しいぎもんは5まい目につけ足しましょう。

④ しらべた本やきいた人・かんさつした場しよを6まい目にまとめて書き足しましょう。

ワーク2 ^{じぶん}自分でしらべてわかったことを紙しばいにしてはっぴょうしましょう。

① ^{かみ}紙しばいの^ば場めんわりをしましょう。かんたんな^え絵やしやしんとわかったことを^か書いてみましょう。

1
まい
目^め

おもて わかったこと1の^え絵やしやしん

うら 2まい目のわかったことの文^{ぶん}

2
まい
目^め

おもて わかったこと2の^え絵やしやしん

うら 3まい目のわかったことの文^{ぶん}

3
まい
目^め

おもて わかったこと3の^え絵やしやしん

うら 4まい目のわかったことの文^{ぶん}

● ^え絵やしやしんや^{いろ}色をつかって、わかりやすくしよう。

② ^ごさい後に、しらべて^{かんが}考えたことや^{あた}新しい^ぎぎもん、
^{ほん}しらべた本や^{ひと}きいた人・^ばかんさつした場しも^か書きましょう。

③ ^{みな}みんなが^よ読みたくなるように、
^しひょう紙をくふうして^{かん}せいさせましょう。

しらべた本やきいた人^{ひと}

考えたことやぎもん

わかったこと③

わかったこと②

わかったこと①

ひょう紙

4-3

はっぴょう会をひらく

つたえたいことが聞く人によくわかるようなはっぴょうにしましょう。

ワーク1 はっぴょうするときに、気をつけることすべてに○をつけましょう。

☐ 聞く人を見て、ゆっくり話す



☐ 聞く人が聞きとりやすい声の大きさで、はっきり話す



☐ 聞いてくれた人に、しつもんやい見をもらう



☐ 作ひんやしゃしんを見せながら話す



☐ 聞く人が聞きとりやすいはやさを考えて話す



☐ 先生とそうだんをして、地いきの人やほかの学年の人をしょうたいする



ワーク2 はっぴょうを聞くときに、気をつけることすべてに○をつけましょう。

☐ 話している人の方をむいて、しずかに聞く



☐ もっと知りたいことはしつもんをする



☐ とんりの人と話しながら聞く



☐ おもしろくないはっぴょうは聞かない



☐ よいと思ったところやかんそうをつたえる



☐ 話しているときにしつもんする



ワーク3 「はじめ」「なか」「おわり」のじゅんじょを^{かんが}えて、はっぴょう^{げん}原^{つく}こうを作^{つく}りま^{つく}しょう。

① **3-5** でしらべたダンゴムシについて、はっぴょう^{げん}原^かこうのつづきを書^かきま^かしょう。

② せつ^{めい}明^{めい}のときにつかいたいものを からえらんで○をつけ、じゅん^{じょ}びしま^{じょ}しょう。

はじめ	1	わたしは について しらべたことをはっぴょうします。	
	2	しらべたわけは、 からです。	
	3	わたしは、 でかんさつしたり、 にきいたり、 で しらべたりしました。	
なか	4	しらべてわかったことは3つあります。 ①はじめに についてです。 	え 絵 ・しゃしん ・カード ほん 本 ・じつぶつ
		②つぎに、 についてです。 	え 絵 ・しゃしん ・カード ほん 本 ・じつぶつ
		③さい ^ご 後に、 についてです。 	え 絵 ・しゃしん ・カード ほん 本 ・じつぶつ
おわり	5	わたしは、 おも ^{おも} い ^{おも} ました。	
	6	しつもんがありますか？ これでわたしのはっぴょうをおわります。	

4-4

がく 学しゅうをふりかえる

がく 学しゅうをふりかえりましょう。なに 何ができるようになりましたか？

ワーク1 その日の学しゅうをふりかえり、あてはまる顔に○をつけて色をぬりましょう。考えたことやできるようになったことを書きましょう。

ふりかえりカード

がつ 月 にち 日 なまえ 名前 ()

● きょう 今日の学しゅう

★ あてはまる顔



◆ かんが 考えたこと・できるようになったこと

.....

ワーク2 とも 友だちのはっぴょうでいいとおも 思ったところをつたえましょう。

さんへ

より

① あてはまるものすべてに○をつけましょう。

- ☐ テーマがいいですね。
- ☐ いろいろなほうほうでしらべていますね。
- ☐ え 絵やしんをじょうずにつかっていますね。
- ☐ ていねいにまとめていますね。
- ☐ しらべたほうほうをきちんと書いていますね。
- ☐ おお 大きい声でわかりやすいはっぴょうですね。

② とくにいいとおも 思ったところ



.....

ワーク3 自分の学しゅうをふりかえりましょう。

① しらべ^{かた}方をふりかえり、できるようになったことに◎や○をつけましょう。

①	しらべたいことを自分 ^{じぶん} できめ、もんだいの文 ^{ぶん} の形 ^{かたち} で書 ^か くことができる。	
②	しらべたいことをどうしてえらんだか書 ^か くことができる。	
③	本 ^{ほん} やインタビュー、かんさつなどいろいろな方 ^{ほう} ほうでしらべることができる。	
④	図書館 ^{としょかん} でさがしている本 ^{ほん} を見 ^み つけることができる。	
⑤	もくじやさくいんをつかって、本 ^{ほん} でしらべることができる。	
⑥	自分 ^{じぶん} で作 ^{つく} ったもんだいの答 ^{こた} えを見 ^み つけることができる。	
⑦	しらべたことをぬき書 ^が きやみじかいことばでカードなどに書 ^か くことができる。	

② まとめ^{かた}方をふりかえり、できるようになったことに◎や○をつけましょう。

①	はっぴょうの方 ^{ほう} ほうを自分 ^{じぶん} でえらぶことができる。	
②	まとめるときには見 ^み 出しをつ ^だ けて書 ^か くことができる。	
③	ぬき書 ^が きには「 」をつ ^か かって書 ^か くことができる。	
④	絵 ^え やしゃしんなどをつ ^か かってわかりやすくすることができる。	
⑤	自分 ^{じぶん} で考 ^{かんが} えたことを書 ^か くことができる。	
⑥	しらべた方 ^{ほう} ほうを書 ^か くことができる。	
⑦	本 ^{ほん} のだい名 ^{めい} は『 』をつ ^か かって書 ^か くことができる。	

③ この学^{がく}しゅうをふりかえって、考^{かんが}えたことやとくにできるようになったことを書^かきましょう。

.....

.....

.....

5-1

すきな本をしょうかいしよう

お気に入りの本や本で見つけたことを友だちにしょうかいしましょう。

ワーク1 これまでに読んだお話の本の中から、お気に入りの本をえらんで、友だちにしょうかいしましょう。

すきなところの絵			だいのめい	わたしのおすすめの1さつ
すきなところ	おどんなお話を	じんとうばい	書いたひと	年組
				()

ワーク2 ^{ほん}本を^よ読んで^みつけた「^{けん}はっ見」を、^{とも}友だちにしようかいしましょう。

わたしの^みつけた^{けん}はっ見！

年

組 (

)

^{めい}だい名

^{ほん}しらべた本

^か書いた^{ひと}人

^{しゅつ}出^{しゃ}ばん社

^{けん}はっ見した^しこと・^し知らせたいこと

^え絵や^ず図

^{かんが}考えたこと

5-2

ここにのこったことを書きぬこう

ほん よ 本を読んで、ここにのこったことを書きぬいて記録くしましょう。

ワーク1 本を読んで心にのこったところを、そのまま書きぬいて記録くしていきましょう。

考えたこと	心にのこったところの絵	だいの 名	心にのこったよ！
	心にのこった文（書きぬき）	書いた 人	
			組

ワーク 2

心にのこったことをメモして、読書かんそう文につなげましょう。

読書かんそう文メモカード		年	組
この本の しゅ人公	しゅ人公とあなたのにているところ	だい名	書いた人
心にのこっているところ	しゅ人公とあなたのよかったと思うこと		

5-3

よ ほん き 読んだ本を記ろくしよう

ほん よ した き
本を読んだら、下のはっぱに記ろくしていきましょう。

☆ ほし いろ とも
星に色をぬって友だちに
しょうかいしてみましょう！



①

よ ほん ひ がつ にち
読んだ日 月 日

だい名

か ひと
書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル



②

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル



③

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル



④

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル



⑤

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル

⑥

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル

⑦

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル

⑧

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル

⑨

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル

⑩

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル

⑪

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル ☆☆☆

⑫

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル ☆☆☆

⑬

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル ☆☆☆

⑭

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル ☆☆☆

⑮

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル ☆☆☆

⑯

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル ☆☆☆

⑪

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル



⑫

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル



⑬

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル



⑭

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル



⑮

読んだ日 月 日

だい名

書いた人

すきなところ

おすすめ
レベル



ゴール!!

たくさん読めました!

これからも楽しみながら読みましょう。

いえひと
家の人から

日本十進分類法

0 ぜんぱん ひゃっか じてん 全般・百科事典

00	ぜんぱん じょうほう かがく 全般・情報科学
01	としょかん どくしょ 図書館・読書
02	としょ しゅっぱん 図書・出版
03	ひゃっか じてん 百科事典
04	ろんぶんしゅう こうえんしゅう 論文集・講演集
05	ざっし ねんかん 雑誌・年鑑
06	だんたい はくぶつかん 団体・博物館
07	しんぶん 新聞
08	シリーズ・ぜんしゅう シリーズ・全集
09	とくべつ しりょう きょうど しりょう 特別資料・郷土資料

1 どうとく しゅうきょう 道徳・宗教

10	てつがく 哲学
11	てつがくかく ぶもん るんり 哲学各部門・論理
12	とうようてつがく 東洋哲学
13	せいようてつがく 西洋哲学
14	しんり 心理
15	どうとく じんせい 道徳・人生
16	しゅうきょう しんわ 宗教・神話
17	しんとう 神道
18	ぶっきょう 仏教
19	きりすときょう キリスト教

4 しぜん かがく いがく 自然科学・医学

40	しぜん かがく 自然科学
41	すうがく さんすう 数学・算数
42	ぶつり 物理
43	かがく 化学
44	てんもん うちゅう 天文・宇宙
45	きしょう ちけい ちしつ 気象・地形・地質
46	せいぶつ じんるい 生物・人類
47	しょくぶつ 植物
48	どうぶつ 動物
49	いがく じんたい やくがく 医学・人体・薬学

5 ぎじゅつ こうぎょう かてい 技術・工業・家庭

50	ぎじゅつ こうぎょう 技術・工業
51	ど ぼく こうがい 土木・公害
52	けんちく 建築
53	き かい げん しりょく 機械・原子力
54	でん き こうぎょう でん し こうぎょう 電気工業・電子工業
55	ぞうせん かいようかいはつ へい き 造船・海洋開発・兵器
56	きんぞくこうぎょう こうざん 金属工業・鋁山
57	かがくこうぎょう 化学工業
58	せいぞうこうぎょう 製造工業
59	かてい せいかつ 家庭・生活

8 げんご 言語

80	げんご 言語
81	にほんご 日本語
82	ちゅうごくご げんご 中国語・アジアの言語
83	えいご 英語
84	どいつご ドイツ語
85	ふらんすご フランス語
86	すぱいんご スペイン語
87	いたλίαご イタリア語
88	ろしあご ロシア語
89	た げんご その他の言語

9 ぶんがく 文学

90	ぶんがく 文学
91	にほんぶんがく 日本文学
92	ちゅうごくぶんがく ぶんがく 中国文学・アジア文学
93	いぎりすぶんがく ぶんがく イギリス文学・アメリカ文学
94	どいつぶんがく ほくおうぶんがく ドイツ文学・北欧文学
95	ふらんすぶんがく フランス文学
96	すぱいんぶんがく スペイン文学
97	いたλίαぶんがく イタリア文学
98	ろしあぶんがく ぶんがく ロシア文学・ソビエト文学
99	た ぶんがく その他の文学

がっこうとしょうかんよう 学校図書館用 網目表

2 歴史・伝記・地理

20	歴史・世界史
21	日本史
22	アジア史
23	ヨーロッパ史
24	アフリカ史
25	北アメリカ史
26	南アメリカ史
27	オセアニア史
28	伝記
29	地理・旅行記

3 社会科学・政治・法律・福祉

30	社会科学
31	政治
32	法律
33	経済
34	財政
35	統計
36	社会・労働・福祉
37	教育
38	風俗・習慣・民話
39	国防・軍事

6 産業・交通・通信

60	産業
61	農業
62	園芸
63	養蚕
64	畜産
65	林業
66	水産業
67	商業・貿易
68	交通・輸送
69	通信・放送

7 芸術・体育

70	芸術・美術
71	彫刻
72	絵画・書道
73	版画
74	写真・印刷
75	工芸・デザイン
76	音楽
77	演劇・映画
78	スポーツ・体育
79	茶道・花道・室内遊び

【展開例】『類』を10に分けたものが『綱』、それをさらに細かく10に分ける『目』があります。



Handwriting practice lines consisting of 20 sets of three horizontal dashed lines.

参考資料（ワークの問題を作成するにあたって、参考にした図書）

『ニューワイド学研の図鑑 植物』学習研究社 2006 年

『ニューワイド学研の図鑑 昆虫』学習研究社 2006 年

『(新訂版) 総合百科事典ポプラディア』ポプラ社 2011 年

『やあ!出会えたね ダンゴムシ』アリス館 2002 年

学校図書館 読書と学びかたノート **小学校低学年用**

2021 年 1 月 第 1 刷発行

編 者 徳田悦子（全国 SLA 学校図書館スーパーバイザー）

監 修 公益社団法人 全国学校図書館協議会

制 作 イラスト 内山良治
デザイン・DTP 瞬報社写真印刷株式会社 デザイン室
印刷・製本 瞬報社写真印刷株式会社

発 行 公益社団法人 全国学校図書館協議会
〒112-0003 東京都文京区春日 2 丁目 2 - 7
TEL 03-3814-4317 FAX 03-3814-1790
<http://www.j-sla.or.jp/>

〔注意〕 このノートには著作権があります。無断で複製や転載することはできません。

© 全国学校図書館協議会 2021

宝くじは、 みなさまの豊かな暮らしに 役立っています。



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちで、
みなさまの豊かな暮らしに役立っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。



一般財団法人

日本宝くじ協会

<http://jla-takarakuji.or.jp/>